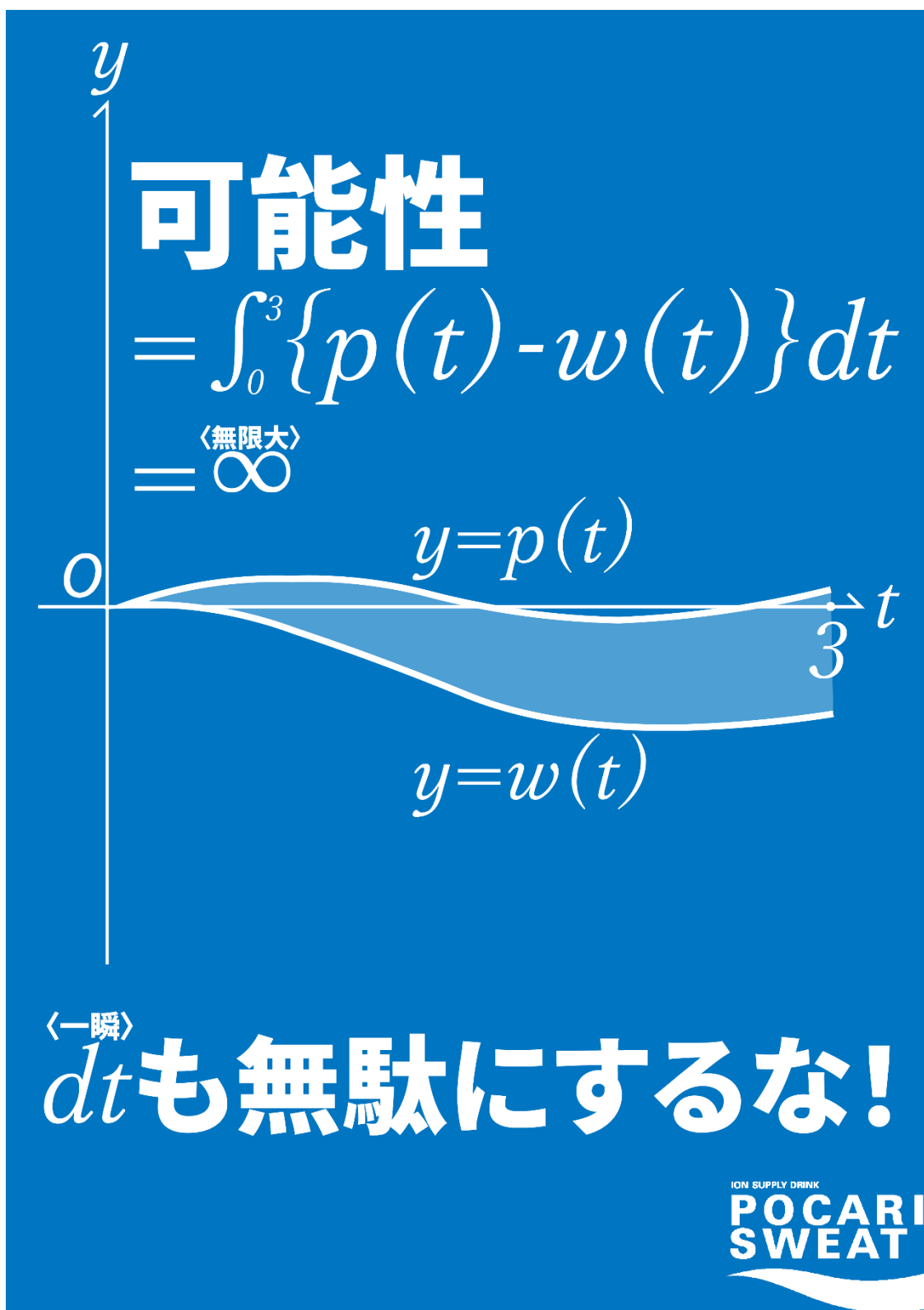


広告主:大塚製薬 課題:ポカリスエット



当課題の解説に、『無限大の可能性がある高校生の夢とともに進化していくブランドであることを表現してください』[1]とある。そのため、私はまずターゲットを「高校生」にしばった。また、伝える内容は「高校生の夢に無限大の可能性があること」とした。そして、この広告の目的を「ポカリスエットをより深く知り、親しみを持ってもらうこと」とした。

次に訴求ポイントについて。まず、数式を含むヘッドラインと二つの y-t グラフが新聞を読んでいる最中に現れることによって、読者を面食らわせることが出来るだろう。これらがアイキャッチとして作用することを期待する。グラフはそれぞれ  $p(t)$  がポカリスエット、 $w(t)$  が真水を表し、横軸  $t$  が時間、縦軸  $y$  が吸収スピードである。これらは、ロゴマークの白い波型が『ポカリスエットと真水の吸収スピードを比較したグラフの曲線を象徴化したもの』[2][3] であることから着想した。この時、グラフに囲まれた面積を積分で求めることによって、水と比較して補給できる量を模したロゴが浮かび上がる。これを、高校生が3年間で身に着ける経験や知識などにかけて、定積分  $\int_0^3 \{p(t) - w(t)\} dt$  で表し、その計算結果を  $\infty$  とすることで、可能性が無限大であることを表現した。サブヘッドラインでは、積分が、 $dt$  という微小時間での吸収量を足し合わせていく計算であることになぞらえて、無限大の可能性を持つ夢のためには今という一瞬を無駄にするなど、少々強い語気でメッセージを込めた。

最後に工夫した点について。第一に、この賞の評価基準は『評価にあたっては、独創性が最優先されます。これまでにないアイデアや表現を生かしたオリジナリティのある広告提案をお待ちしています。』とある。第二に、過去にこの課題で受賞した作品や放映されている CM や張り出されている広告に注目すると、青春を感じる部活や学園生活の風景、シンプルなイラスト、登場人物のセリフからその外側を連想させる「イメージ、情緒」ものが多い。しかし私はそのような写真を持っておらず、あっと言わせるようなイラストも描くことができない。また、どうせならユニークなものと考え、高校生らしいものとしてあえて勉強、今回はその中でも数学にスポットライトを当てた。これは、私が子どもの時分に習った用語などをからかうように会話の中でも使っていた記憶から、高校の分野である「微分積分」「無限大」を今回のテーマに絡めたら面白いのではないかと考えたためである。

また、レイアウトなどにも気を遣った。視点の動線としては 1.ヘッドライン 2.グラフ 3.サブヘッドライン 4.商品ロゴ となることを期待している。読者に面食らわず目論見は先ほど述べたとおりである。そして、関数の文字、グラフの形や背景と文字の色などヒントはあるものの、ロゴを見るまではポカリスエットの広告だと気づかない人も多いのではないかと期待する。ロゴを見て気づき、「なぜこれを広告にしたのだろうか」と興味を持つ。各々が調べることによって一つずつ謎を紐解いてもらうことが、私の考える理想である。

私はこのようにして、ポカリスエットが「無限大の可能性がある高校生の夢とともに進化していくブランドであることを」を表現した。

〈参考文献〉

- [1] 2022 年度 第 71 回 朝日広告賞 <https://www.asahi-aaa.com/>
- [2] ポカリスエット公式フェイスブック  
<https://m.facebook.com/pocarisweat.jp/photos/a.238218016190249/4340198812658795/>
- [3] ポカリスエット公式サイト <https://pocarisweat.jp/products/story/episode04/>